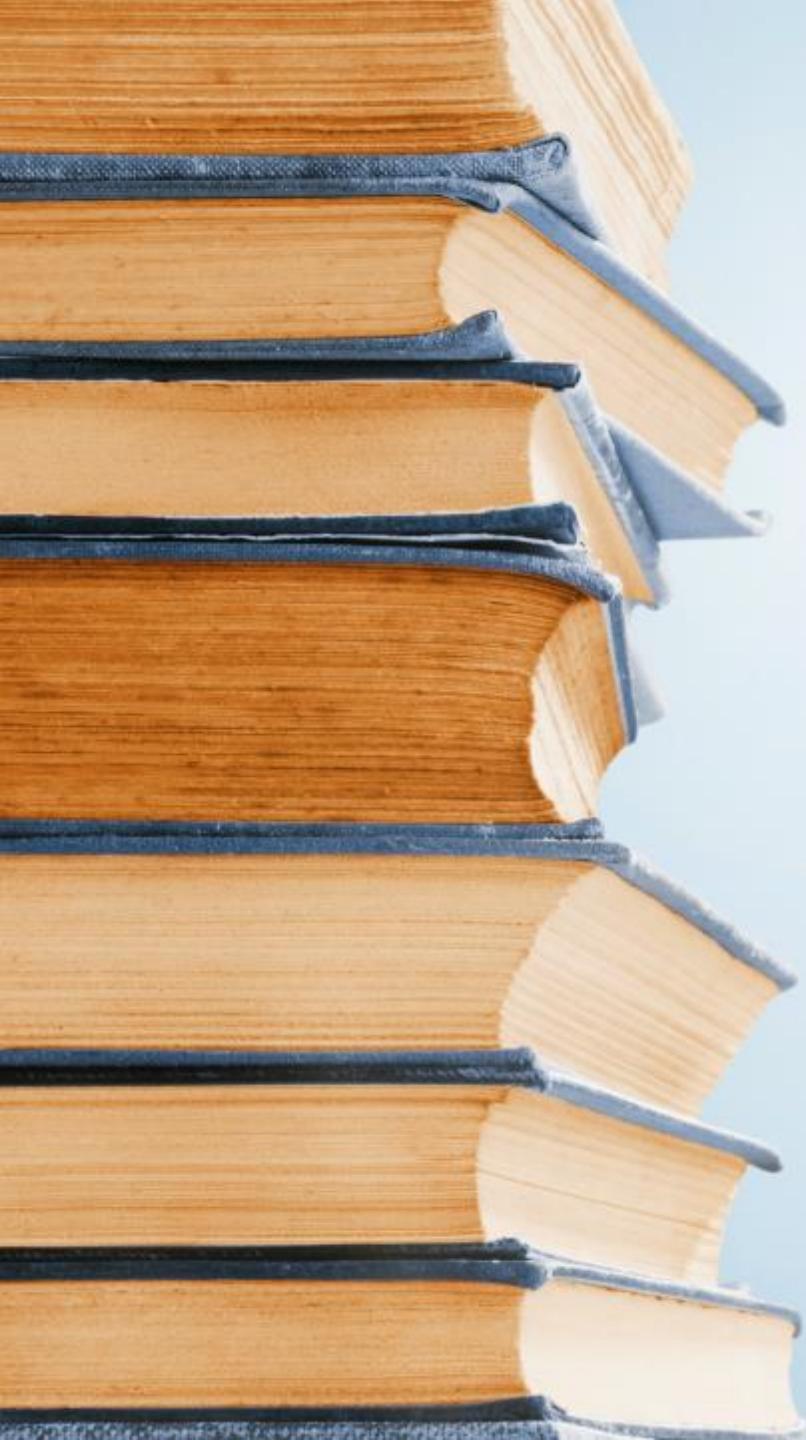




新潟大學  
NIIGATA UNIVERSITY

# 参考文献の書き方

図書館学習サポーター  
吉田 雄真(自然科学研究科 修士1年)



# 話の流れ

✓ 参考文献って何？

✓ 参考文献の役割

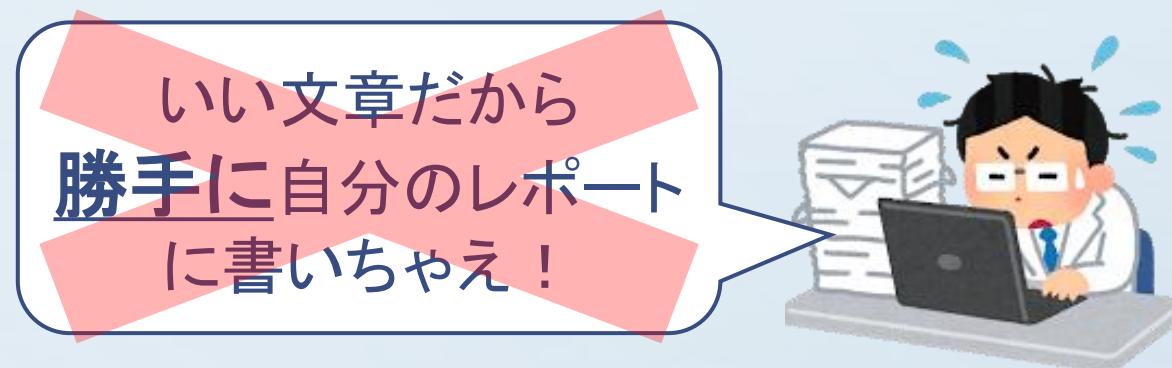
✓ 参考文献を使用するために

✓ 書き方の例

✓ 注意事項

- レポートの種類ごとの例
  - (主に)理系
  - (主に)文系
- 文献の種類ごとの例
  -  図書
  -  雑誌論文
  -  ウェブサイト

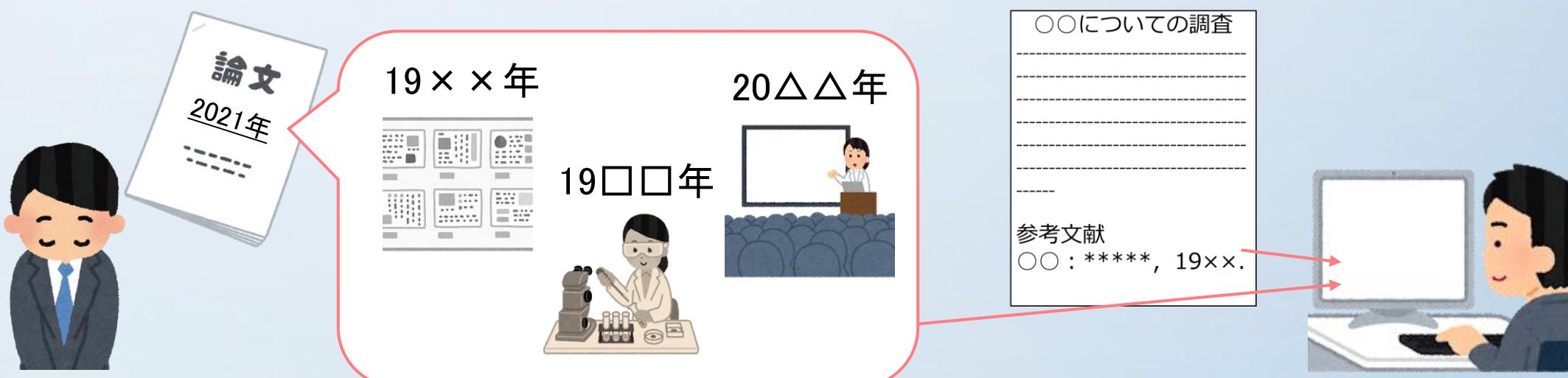
# 参考文献って何？



自分が参考にした文献を読者に示さなければならない

# 参考文献の役割

- 自身の論文の新規性、独創性、信頼性の明確化
- 先行する著者(先人・先輩)に対する敬意
- 出典の明示
- 読者に対する情報提供



# 参考文献を使用するために

- ・著者名
- ・出版年、更新年
- ・書名、論文名
- ・ウェブサイト名、URL など

読み手がもとの文献に  
たどり着けるだけの情報を  
明記する必要がある

※研究の系統や参考文献の種類によって記載方法が異なる

- SIST 02：主に日本語、特に科学技術分野でよく使われる
- APAスタイル：心理学・社会学などの分野でよく使われる

# 書き方の例①: 図書

【SIST 02 (主に理系)】

**著者名・書名・出版社・出版年・[総ページ数]・[シリーズ名]。**

〔例〕 櫻井武・睡眠の科学—なぜ眠るのかなぜ目覚めるのか—・講談社、2010.

【APAスタイル (主に文系)】

**著者名(出版年)・『書名』・出版社・[シリーズ名]・[総ページ数]。**

〔例〕 櫻井武(2010)・『睡眠の科学—なぜ眠るのかなぜ目覚めるのか』・講談社.

# 書き方の例②： 雜誌論文

【SIST 02 (主に理系)】

**著者名・論文名・誌名・出版年, 巻数, 号数, p.始め-終わり.**

〔例〕古重奈央.小学校家庭科における片づけの学習の検討.日本教科教育学会誌.2019, vol.42, no.3, p.55-67.

【APAスタイル (主に文系)】

**著者名(出版年).「論文名」『誌名』 巻数, 号数, pp.始め-終わり.**

〔例〕古重奈央(2019).「小学校家庭科における片づけの学習の検討」『日本教科教育学会誌』42巻, 3号, pp.55-67.

# 書き方の例③: ウェブサイト

## 【SIST 02 (主に理系)】

**著者名 . “ページ名” . サイト名 . 更新日 . 入手先URL , (閲覧日)**

〔例〕 中央教育審議会 . “新しい時代の初等中等教育の在り方について” . 文部科学省 . 2019 .  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1415877.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1415877.htm) , (参照 2021-06-21).

## 【APAスタイル (主に文系)】

**著者名(更新日) . 「ページ名」 . サイト名 . 入手先URL , (閲覧日)**

〔例〕 中央教育審議会(2019) . 「新しい時代の初等中等教育の在り方について」 . 文部科学省 .  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1415877.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1415877.htm) , (参照 2021-06-21).

# 注意事項

- ・新聞記事などの引用もOK
- ・参考文献と本文との関連づけも大切  
(直接引用・間接引用、バンクーバー方式・ハーバード方式)
- ・今回紹介した2つの形式以外にも様々な形式がある
- ・1つのレポート内では同じ形式に揃える

**※ 科目担当、ゼミの先生の指示に従って適切な形式で記載する**

# 参考文献

- 科学技術振興機構 . 参照文献の書き方 . 科学技術情報流通技術基準ホームページ . 2007 .  
[https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02\\_2007/main.htm](https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm) , (参照 2021-06-24).  
【 Web 】
- 藤田節子 . レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方 . 日外アソシエーツ , 2009 .  
【 附属図書館所蔵 中央館3F:図書 , 816.5//F67 】

※ SIST 02 で記載

# おまけ (本文との関連づけ)

【ハーバード方式】：著者名(発行年)順

- 本文

この問題に関して、吉田(1990)は、  
～～～～という見方をしている。それ  
に対して、「～～～～」(佐藤,2005)とい  
う議論も存在する。

- 参考文献

佐藤□□. ○○. △△, 2005.  
吉田□□. ○○. △△, 1990.

【バンクーバー方式】：引用順

- 本文

この問題に関して、吉田は、～～～  
～という見方をしている<sup>(1)</sup>。それに対し  
て、「～～～～」<sup>(2)</sup>という議論も存在す  
る。

- 参考文献

(1) 吉田□□. ○○. △△, 1990.  
(2) 佐藤□□. ○○. △△, 2005.